種類別明細書（増加資産・全資産用）の記載例

資産の名称等
資産の追加・修正の際は、資産の名称及び規格等を漢字、ひらがな、カタカナ、数字又はアルファベットで記載してください。
また、各資産の種類の間は１行あけて記載してください。

取得年月
資産を実際に取得した年月を記載してください。
年号は数字で記載してください。
3　昭和　　4　平成
5　令和

取得価額
資産の取得価額を記載してください。
資産の取得に要した荷造費、輸送費、据付費、運送保険料などの附帯費があればこれらも含めて記載してください。
また、圧縮記帳の制度は、認められませんので、圧縮額を含めてください。

耐用年数
耐用年数表による耐用年数を記載してください。
なお、中古資産で見積耐用年数を適用している資産はその耐用年数。
短縮耐用年数による場合は、国税局長の承認通知書の写しを添付してください。

資産コード
記載する必要はありません。

所有者コード
記載する必要はありません。

数量
資産の数量を記載してください。

令和 9 年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

所有者コード

所有者名　小牧株式会社　1 枚のうち 1 枚目

第二十六号様式別表一（提出用）

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	取得年月 年月	取得価額 百万 千 円	耐用年数	価額 百万 千 円	課税標準の特例 率	課税標準の特例 コード	課税標準額 百万 千 円	増加事由	摘要
01	1	100001	アスファルト　ホソウ	14	7 10		1075200 10						1・2・3・4	
02	2	200001	ジムヨウキキセイゾウセツビ	14	7 10		1000000 7						1・2・3・4	
03	2	200002	ブルドーザー	14	2 4 10		12000000 ~~17~~ 8						1・2・3・4	2517
04	6	600001	ニダン　カウンター	~~14~~	~~7 10~~		~~245000 8~~						1・2・3・4	R8.7除却
05	6	600002	カベウメコミソウゴウアンナイパン	14	7 10		275000 10						1・2・3・4	
06	6	600003	ボトルダナ	24	7 10		448000 8						1・2・3・4	
07	6	600004	ショッキ　トダナ	24	7 10		546000 ~~8~~ 10						1・2・3・4	耐用年数誤り
08	6	600005	ニダンカウンター	~~2~~ 1	4	7 10	~~602000 10~~ 301000						1・2・3・4	一部除却
09													1・2・3・1	
10	1		コンクリートほそ装	15	8 3		350000 15						①・2・3・4	
11													1・2・3・4	
12	2		集塵機	14	16 2		500000 7						1・2・③・1	名古屋より移動
13	2		高速施盤	15	8 10		1850000 4						1・②・3・4	中古
14													1・2・3・4	
15	6		複写機	15	7 3		400000 5						①・2・3・1	前年度申告もれ
16	6		ルームクーラー	15	8 10		500000 6						①・2・3・1	
17													1・2・3・4	
18													1・2・3・4	
合計				~~11~~ 14			~~16191200~~ 19245200							

価額・課税標準額
記載する必要はありません。
ただし、電算処理により全資産申告をされる場合には記載してください。

資産の種類
数字で記載してください。
1　構築物
2　機械及び装置
3　船舶
4　航空機
5　車両及び運搬具
6　工具、器具及び備品

資産が減少した場合
明細書に印字のされている該当の資産を二重線で抹消してください。
（注）行番号、資産の種類、資産コードは消さないでください。

資産の項目を修正する場合
明細書に印字のされている資産の修正すべき箇所を二重線で抹消し、その上に修正後のデータを記載してください。
※印字されている一行の資産の一部が減少した場合は、数量と取得価額を二重線で抹消し、残った数量と取得価額をその上に記入してください。

資産が増加した場合
明細書の余白に印字の例にならい記載してください。

所有者名
氏名又は名称を記載してください。
また、ページ数も記載してください。

増加事由
1　新品取得
2　中古品取得
3　移動による受入れ
4　その他
いずれかを○で囲んでください。
なお、記載のない場合は、「1」で登録します。

摘要
以下のような場合には摘要欄にその旨記載してください。
- 特例・非課税・増加償却・短縮耐用年数等の特殊な資産
- 転入資産とその年月
- 転出・除去資産とその年月
- 中古資産である場合
- 申告もれ資産
- 旧耐用年数
- その他参考となる事項

（旧耐用年数について）
平成20年度・25年度税制改正により耐用年数が変更となった資産については、摘要欄に旧耐用年数を記載してください。
［例］平成20年度旧耐用年数12年→2012
平成20年度旧耐用年数　7年→2007
平成25年度旧耐用年数17年→2517
※以前に旧耐用年数を申告された方は印字されています。

【留意事項】

前年度申告された場合
⟶ 前年までの資産が印字されています。下記の記載例にならい記載してください。

新たに申告される場合
⟶ 令和９年1月1日現在に所有しているすべての資産を下記の記載例にならい記載してください。

※独自の様式で申告される場合
⟶ 増加資産明細書、減少資産明細書を作成されている場合は提出をお願いいたします。